＜先週の説教から＞

『詩編 51Ⓐ ― 私を雪よりも白くして』

武田真治牧師

詩編 51：1～11　ルカ福音書　15：21～24

この詩編は、ある有名な解説者が『詩編の中の詩編』と名付けています。１５０篇あるこの詩編の中でも最も詩編らしい詩編だと！その理由は３つあると言っています。①一つの詩として、とても美しい構造と言葉を持っているから、②その内容が詩編で最も多い《一人の祈り人が神様へ切に願い求める＝個人の嘆きの歌》として典型的な詩編であるから、そして何より、この詩編が③もともとの詩編の作者と言われるダビデ王と直接に関係している詩編であるからということです。③の点については、この詩編の表題（１～３節）に「ダビデがバト・シェバと通じたので預言者ナタンがダビデのもとに来たとき。」とダビデの具体的な人生に深く関わっている（＝ダビデ自身がこの詩編を祈った可能性がある）からです。この詩編のような、表題でダビデの人生の出来事と直接、関連付けられている詩編は、実は１３個しかありません。

ダビデが王様に即位してかなり年数が経った頃、王宮の屋上から一人の美しい女性を見初めました。それがバト・シェバでした。ただし、彼女には既にウリヤという夫が居ました。にもかかわらず無理矢理に関係を持ち、妊娠させてしまったのでした。彼は、それを何とか誤魔化そうとしましたがうまく行かず、最後はウリヤを戦いの最前線に送り込み、戦死させてしまうのでした。そして彼女を自分の妻にしてしまったのでした。この重大な”罪”を、神様から預言者ナタンが彼の元に遣わされ、ダビデを告発したのでした。その事で、ダビデは自分がいかに”愚かなこと”をしてしまったかを深く悔い改めるのでした。それがこの詩編５１篇なのです。

この詩編で印象的な点は、「わたしはあなた（＝神様）のみに罪を犯した」と告白している点です。周りの家来や知人からは直接、批判されることはなかったのでしょう、故に、ダビデも自分はそんなに悪いことをしたとは思っていなかったのでしょう。しかし「あなた（＝神）のみにわたしは罪を犯し、御目に悪事と見られることをしました」と。それ故、この罪の”赦し”は神様によってしか解決されないことを痛感したのでしょう。それが有名な「わたしの罪を払ってください。雪よりも白くなるように。」という祈りです。

そして単に嘆きと悔い改めに終わらず、更に一歩進めて自らの”新生”を神様に願い求めていることが、もう一つのこの詩編の素晴らしさでしょう。即ち「あなたによって砕かれたこの骨が喜び踊るように」です。旧約聖書で「骨」は人間の生きる力の宿る所と考えられていました。それを“砕かれた”のは自分への戒めと試練のために起こされた《神様の御業》であると認めながら、そう受け止めながら、その上で、だからこそ“神様が新しく生きる力”を必ず与えてくださるにちがいないと！しかもそれは「私の骨が踊る」ほどの『喜び』で満たしてくださる時となると！このような“希望”をもてることこそ、主に従って生きる者の“信仰”です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．５月７日（水）20：00
　　Ⅱ．５月８日（木）10：30

聖書研究：　ローマの信徒への手紙
祈祷主題：　母の日合同礼拝を覚えて
担当者：　（水）伊藤　　（木）坂田
祈りに覚える人：　中澤さん　　長田さん

【教勢報告】

主日礼拝　　男24　女55　計79
祈祷会　Ⅰ.男４　女３　計７　Ⅱ.男１　女７　計８
日曜学校　　幼稚科１　小中科11　計12
ひつじ雲の会　４月28日(月) 10：00～　男0　女5　計5

【次週合同礼拝】　５月　１１日（日）

聖　書：ヨハネによる福音書　１９：２５～２７
説　教:「母の日合同礼拝―イエス様とマリアさん」
　　武田 真治 牧師
讃美歌：４９０(子供137)、３２(子供27)、２００(子供55)、６０(子供58)、５３３(子供129)、２４(子供25)

【次週当番表】

司式:岩佐長老　奏楽:羽倉　礼拝:齋藤長老
献金：小草　勝村　　受付：鈴木　橋本
会堂準備：飯島　岡本　金刺　中村　森本
看板：岩佐　　週報：金刺　　お花：茨木

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会　・求道者会
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会
　　・壮年/婦人/ダビデ 各会

６６－１８

週　報

2025年度　教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

２０２５年　　５月　　４日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/